

令和4年度

自己評価の報告書（ふくよか彩橋認定こども園）

評価項目	取り組み状況
教育方針・目標	<p>令和2年4月から「地域の子は地域で育てる」ことを主旨とし幼稚園と保育園の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として一体的な教育保育を行う。</p> <p>【理念・基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none">・明るく健康な子・素直で思いやりのある子・あいさつのでききる子・乳幼児の最善の利益を考慮し、子どもの人権や主体性を尊重し、健やかな成長と保護者家庭との緊密な連携のもと子育て支援や地域とともに地域福祉向上に努める。・自然豊かな環境・文化に関わり、様々な体験を行うことや地域の人々とふれあうことで、地域の良さを感じる。・季節のあそび・行事などの活動を通して特色ある保育をすることで、興味や関心を高め、意欲・自主・協調などの社会性を養う。・保護者に信頼される園づくり。・時代とともに保育や教育の需要が常に変化していることに対応できる園であること。
教育内容の保護者への周知	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーションを設け園の運営規定の重要事項とクラスの運営等の説明を行う。・毎月の園だよりを発行し、行事等を知らせている。・ミニだより、クラスだよりを発行し各クラスのねらい、カリキュラム等を知らせている。・行事等の様子を写真などで掲示する。

<p>教育環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくよか園舎（0歳児～3歳児）・彩橋園舎（4歳児・5歳児）に分かれて教育保育の実践を行い、活動等においては、両園舎にて合同保育を取り入れている。 ・月2回講師を招いての和太鼓、リズム遊びを取り入れている（3・4・5歳児） ・年長児を中心とした異年齢児交流「ごっこあそび」を取り組む。 ・園外活動を通して、4島の地域を活かした自然体験を取り組んでいる。 ・彩橋園舎において、絵本の貸し出しを取り組んでいる。（1日1冊・週末2冊） <p>※今年度はコロナ感染防止のため行事等の縮小・中止となる。</p>
<p>保育教諭同士の協力連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日は彩橋園舎、水曜日は合同での職務会、必要に応じて、リーダー会を取り入れ職員間のハウレンソウ（報告・連絡・相談）を行っている。 ・支援を要する子どもや長期欠席の子どもたちについて情報を共通理解し、職員全体で支援に努めている。 ・様々な行事を通して係を中心に準備・進行・後片づけなどで職員が協力し助け合って同僚性を高め合っていくようにしている。
<p>研修・研究の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修を中心に、職員を派遣し、保育の質を高めている。 ・園内外の研修を取り組んでいる。 <p>※今年度もコロナ禍のためオンライン研修が主となる。</p>
<p>健康・安全・衛生管理の配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策として、マスク・手洗い・酸性水消毒の励行に努め、感染症の流行があれば、適宜判断し、保護者への文書配布、モバイルメール発信にて周知する。 ・毎月1～2回の避難訓練（火災・災害・不審者）を行い年1回は総合訓練を実施し、消防職員や駐在所の巡査の指導を受けている。また、4・5歳児は小学校と連携し交通安全教室に参加している。 ・お散歩時や両園舎を行き来する場合は横断歩道を渡ることを知らせる。 ・心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、散歩、園外保育、年齢に応じた運動あそびなどを年間計画として位置づけそれに基づいて取り組みを行っている。 ・安全管理担当を配置し、両園舎において（月2回）安全点検を行い、職員の安全管理意識を育て、環境の安全管理の徹底を行う。 ・うるま市主催の地震・津波災害においては、小中学校・地域ともに連携し防災訓練に参加している。今年度は雨天の影響でシェイクアウト訓練となる。

<p>食育推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしく・楽しく・感謝して」を目標に食べる意欲、生活習慣の指導を心がけ子どもたちの体力向上に取り組んでいる。 ・農園やプランター栽培など、身近な野菜作りからの収穫を喜びクッキング・ランチバイキング等で、食事を楽しみにする時間を大切にしている。 ・食物アレルギー児の給食については、誤飲防止として食器やトレイの色や形で違いが分かるよう考慮する。また、配膳された食事は成分チェックを調理室、事務室、各担任で確認する。 ※成分チェックは3段階に分けて確認を行う。
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児及び配慮を要する子の巡回相談を行い一人ひとりに合った支援・計画に努める。 ・その状況に応じて各関係機関との連携を図り情報共有を行う。 ・保護者支援に努める。その都度面談を行い、就学時に向けて支援体制を行っている。
<p>情報の発信と受信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより帳・ミニだより・クラスだより・園だより等を活用し、個々の子どもの様子は、保護者と直接話や電話をしたりして、情報交換を行っている。(園だよりや献立表等はホームページに掲載) ・行事ごとにアンケートを実施し、保護者の声を受け入れ、改善できるように取り組んでいる。玄関先や各クラスにおいてアンケート用紙と意見箱を設置 ・緊急事態等やその他必要に応じて、保護者家庭への文書配布・モバイルメール発信を行っている。
<p>地域との関わり</p>	<p>園庭開放（コロナ感染防止のため開放を中止することもあった）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の行事等（夕涼み会・運動会・発表会・マラソン大会）においては地域の方も参加していただけるように地域の掲示板を活用、また、自治会のアナウンスで周知している。 ・地域における行事等（こいのぼり掲揚式・長寿の集い・ガーゼバル・イリチャンバーケー・ハーリー大会・区民運動会）に参加し自治会や地域の方との交流を図っている。 ・一号認定児におけるの募集案内を各6地域（浜比嘉・桃原・宮城・池味・上原・伊計）へ、ポスター配布、掲示の依頼を行っている。 ・就学時前の宮城こども広場（児童施設の見学や活動・ジャガイモ植え、収穫）との交流。 <p>※今年度の地域におけるの行事等はコロナ感染防止のため中止になることが多かった。</p>

<p>小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none">・円滑な接続に向け、こ・小連携連絡会を年3回行っている。・小学校との交流学习を行っている。(主に4・5歳児)・小学校の体育館・プール、運動会の使用・交通安全教室に参加する。・毎月の園・学校だよりを通して相互の行事等、活動内容の情報提供を行い、交通安全教室に参加、マラソン大会への応援参加などを行う。・小学校とは、こちらから小学校見学等で卒園児の様子を知ることができたり、小学校から園児の様子も見に来ていただいたり、小学校、こども園の両職員間で、施設見学、授業参観、保育参観等を行うなどして連携を深めていった。今後も連携の強化に努めたい。
----------------	--

令和4年度 全職員の自己評価総評及び課題

●総合結果として前年度に比べて、改善されているのが多く見られ、全体的評価が上昇傾向にある。

○よかった視点

- ・子どもの状況や発達過程を把握・理解し発達段階の沿った柔軟な保育」を行うことが出来た。
- ・全職員がマニュアルの確認、作成に参画することで、文章化すること・必要な記録を残すことを意識するようになった。

○改善すべき視点

- ・職員間での連携…少しずつ改善されているが、全職員の連携となると、まだまだ改善の余地がある。

両園舎間の連携強化
園内研修・職務会の充実・メールなどの活用

※前年度に引き続き、より意識して取り組んでいきたい。

以上のとおり報告します。

令和4年(2023年)1月20日

ふくよか彩橋認定こども園

園長 大庭 洋子